

# 平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。  
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133305							
事務事業名	外国人市民用生活情報誌提供事業	担当部局・課 市民部 国際・平和課						
事業内容	市内在住外国人市民のうち、希望者に伊丹市の広報などの抜粋記事や外国人市民へのお知らせを、英語・中国語・ハングル・ベトナム語・ポルトガル語に翻訳し自宅へ、該当言語版を郵送している。	事業開始(予定)年度 平成7年度						
		事業終了(予定)年度 —						
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点 支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現						
		項目 きめ細かな地域福祉の推進						
		施策 多文化共生のまちづくりの推進						
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。							
事業の目的	阪神大震災時の経験を教訓に、災害時に情報伝達において孤立しやすい、日本語が不自由な外国人市民にも市政の重要事項の伝達をはかり、地域への連帯感を感じてもらうと共に、多文化共生社会樹立の足がかりとし、外国人市民にも暮らしやすい環境作りを目指す。	<b>予算費目</b> (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。) (款) 総務費 (項) 総務管理費 (事項) 国際交流推進経費 (目) 企画費						
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)					
	事業費	財源内訳		財源内訳				
		67千円	国・県補助金等	—	国・県補助金等	—		
			市債	—	市債	—		
			その他(使用料等)	—	その他(使用料等)	—		
	一般財源(市税等)		67千円	一般財源(市税等)	67千円			
投入人員	0.20人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	投入人員	0.20人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)			
人件費	1,713千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	人件費	1,713千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。			
経費合計	1,780千円		経費合計	1,780千円				
活動指標	指標名(単位)	翻訳言語数(ヶ国語)		計画と実績	年度	H17年度	H18年度	
	意味・算式等	外国人市民の国籍に対応するため翻訳言語をできるだけ増やす			区分	計画値	5	5
					実績値	5		

評価結果	C
	上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。